



UP DATE



■第55～57回機関誌企画編集小委員会を開催

機関誌企画編集小委員会は、第55回を7月9日に、第56回を8月11日に、第57回を9月3日に開催し、機関誌「No-Dig Today」について、下記の事項の審議、決定を行いました。

(1) 第64号（7月1日発行）

- ①非開削推進工法の第3クルールの第一弾（スタート）として「極小口径推進」を特集した。巻頭にこの特集の狙いを記載したことで、全体構成が分かり易い内容となった。
- ②連載「低炭素社会の路上工事を問う」の初回として山下横浜市道路局長、岡久国交省北陸整備局道路部長及び編集小委員の鼎談を掲載した。新たなこのテーマで、機関誌も特徴ある構成となった。この連載は継続することとする。

(2) 第65号（10月1日発行）

- ①非開削推進工法の第3クルールの第二弾として「小口径管推進」を特集する。
- ②NO-DIG モスクワ国際会議調査団の報告書を掲載する。この際、NO-DIG 賞の受賞記事を記載する。
- ③連載「低炭素社会の路上工事を問う」は、路上工事縮減5箇年計画を発表した東京都建設局道路部を取材することとする。
- ④2008年技術講演会（7月10日開催）の講演レジュメを掲載し、ソーシャルコストに貢献する非開削技術のイメージをアピールする。
- ⑤門前仲町の例大祭を取材記事を掲載する。

(3) 第66号（1月1日発行）

- ①非開削推進工法の第3クルールの第三弾として「大中口径管推進」を特集する。
今回特集の特徴を出すため、環境問題等の切り口の異なった課題を含む論文を募集することとする。
- ②連載「低炭素社会の路上工事を問う」は、学識経験者に取材することとする。

■HDD工法委員会は第32回を7月11日に開催し、以下の事項を審議しました

- ①HDD工法標準設計・積算資料(案)平成20年度改訂版の内容審議を行い、早期発行を目指すこととした。
- ②HDDの一層の普及拡大を図るため、システムの展

示見学会を開催することとした。

時期は10月3日（金）、場所は好ましい候補地を今後選定することとした。

■工法ナビゲーション運営委員会は第23回を

8月27日に開催し、以下の事項を審議しました

- ①管渠の更生工法における設計・施工の手引き（暫定版）に掲載されている更生の判断項目を早急に取り入れる。
- ②ナビゲーションの構成ソフトの全面的な更新を検討する。

■第15回非開削技術講演会の開催

平成20年度の第15回非開削技術講演会を下記により開催致しました。

日 時：平成20年7月10日（木）13：30～16：30

場 所：発明会館ホール（東京都港区虎ノ門）

聴 講 者：約150名

講演会テーマ：「ソーシャルコストの概念は我が国に定着し得るか」

講師の講演：

- ①「ソーシャルコストと下水道」
（社）日本下水道管路管理業協会専務理事
田中 修司
- ②「ライフライン事業者とソーシャルコスト」
NTTアクセスサービスシステム研究所担当部長
西野 龍太郎（現：日本ユーティリティサブウェイ(株)
代表取締役副社長）
- ③「非開削技術とソーシャルコスト」
北九州市立大学国際環境工学部教授
松本 亨
- ④「非開削工法の選定におけるソーシャルコストの活用」
（株）極東技工コンサルタント代表取締役社長
村岡 基

パネルディスカッション：

（社）日本下水道管渠推進技術協会 専務理事石川和秀氏をコーディネータ、講演の講師4名をパネラーとして、本講演会テーマについてのパネルディスカッションを行いました。